

## 9. 海岸

台風の常襲地帯である本県では、台風時の高潮や波浪による被害が絶えず、海岸保全施設の整備は重要な課題となっています。一方、本県の海岸は、美しい自然景観を有するとともに、多様な動植物の生息の場、県民にとっての憩いの場でもあることから、所要の安全を適切に確保するとともに、環境や利用、景観にも配慮した海岸づくりを推進しています。

### 海岸保全施設の面的な整備方法



### 金武湾港海岸屋嘉地区(金武町)



整備前(越波状況)

整備後(護岸、養浜、突堤)

#### 人工リーフとは？

天然のリーフの機能を再現したもので、波の勢いを衰えさせるもの。

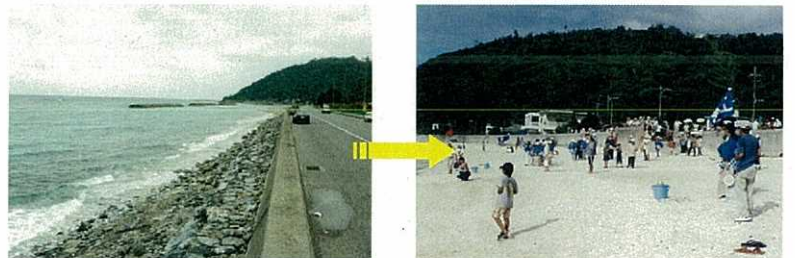
#### 養浜とは？

海岸線に人工的に砂を入れ、海浜の造成を行うこと。打ち寄せた波を衰えさせる役目がある。

#### 突堤とは？

養浜砂が波や潮流などにより、沖や周辺に流れ出ないようにする役割がある。

### 根路銘海岸(大宜味村)



整備前(砂浜浸食状況)

整備後(砂浜の復元)

## 10. 砂防

毎年のように襲来する台風や気候変動に伴い多発傾向にある集中豪雨により、人家へ被害をもたらし、時には人命をも奪いかねない土砂災害から、生命を守り安全な生活環境を確保するため、砂防施設・地すべり防止施設・急傾斜地崩壊防止施設の整備を進めています。

また、土砂災害防止法に基づく、警戒避難体制の整備や危険な箇所への新規宅地開発の抑制等を実施するソフト対策を推進していきます。

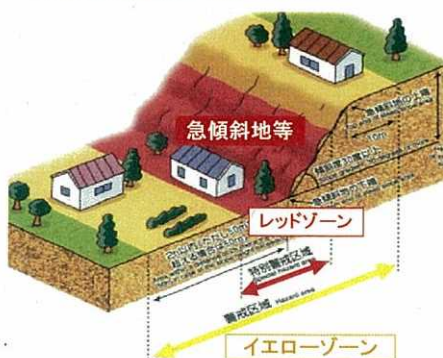


中城村安里地区  
地すべり災害  
(平成18年6月発生)



地すべり防止施設の整備状況(平成20年3月)

### 土砂災害警戒区域等の指定



警戒避難体制の整備  
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)指定後の施策



特定開発行為の制限  
建築物の構造規制  
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)指定後の施策



# 11. 住宅

本県の住宅の整備は、県民のニーズに対応した良質な住宅ストックの形成と良好な住環境の整備を促進するため公営住宅整備や住宅地区改良などを実施した結果、復帰前から平成20年度末までに、公営住宅を33,726戸、改良住宅を1,355戸建設し、県民の住宅事情の改善に寄与している。

最低居住水準未達の世帯率		
	住宅すべて	公営住宅
全国	4.2%	9.2%
沖縄県	7.6%	17.3%

約2倍の格差

## 不良住宅の除却



## 公営住宅の建替えによる居住水準の向上

最低居住(面積)水準未達の世帯率 建替前 24.5% → 建替後 0.0%



県営登野城団地(石垣市)

## 良好な住環境の創出



[改良住宅]あげな団地(うるま市)

## 耐震性の向上



県営古波蔵市街地住宅(那覇市)

# 12. 下水道

本県では、ほぼ3人に2人が下水道を利用できる状況にあるが、整備が遅れている本島北部・離島などの地方部での普及率は低く、本島中南部の都市部と大きな格差が生じている。今後とも「沖縄汚水再生ちゅら水プラン」に基づき、下水道事業の未着手町村の解消を図り、快適な生活環境の維持・向上と公共用水域の水質保全を促進する。



昭和44年頃的那覇市波之上

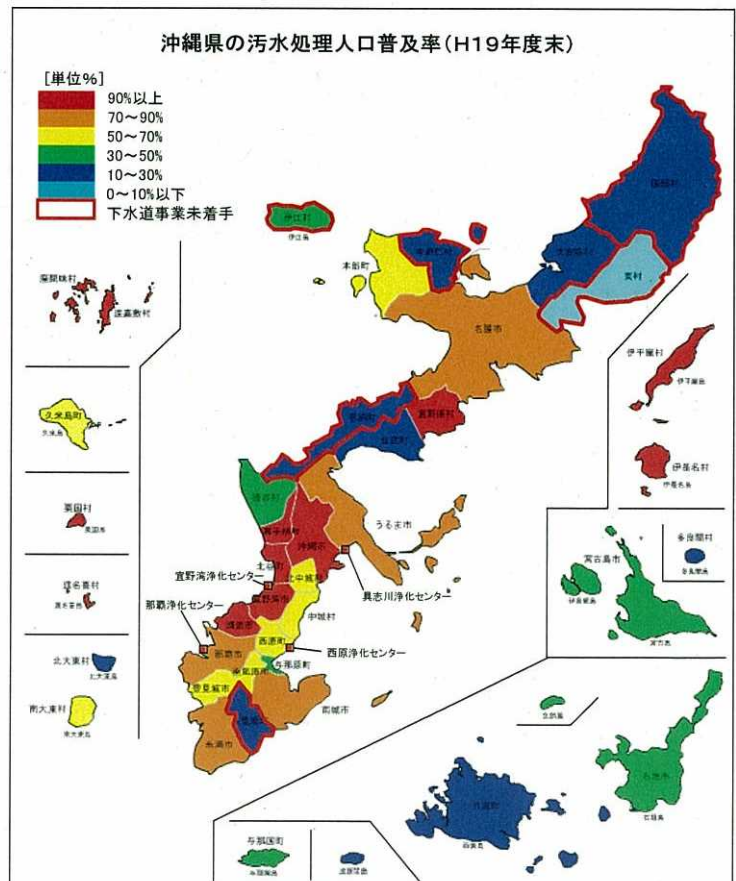


那覇浄化センター供用開始 (昭和44年)

下水道の効果



現在の那覇市波之上ビーチ



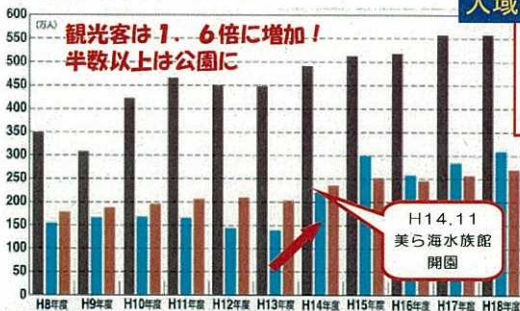


### 13. 公園

本県の都市公園は、本土復帰後着実に整備を進めてきており、観光・リゾート産業の振興や県民のレクリエーション活動の支援などにも重要な役割を果たしています。

今後は、地域間のバランスに配慮して、十分な公園の確保がなされていない、那覇広域圏及び中部広域圏の公園の整備を重点的に行います。

#### 入域観光客と公園入園者の推移



- 沖縄県全体
- 海洋博覧会地区
- 首里城地区

本島中南部は  
全国平均以下

#### 都市公園整備現況

平成20年3月31日現在

都市計画区域等	箇所数	面積 (ha)	一人当たり公園整備面積 (m <sup>2</sup> /人)
那覇広域	404	485.60	6.16
中部広域	222	301.54	9.14
名護・本部	53	128.23	17.33
宮古	18	103.80	21.18
石垣	10	238.42	50.73
沖縄県計	709	1,272.79	9.77
全国計	95,207	113,207	9.4

#### 沖縄本島内の都市公園での 2009プロ野球1軍春季キャンプ



- うるま市石川公園 韓国・LGツインズ
- 北谷公園 中日ドラゴンズ
- 浦添運動公園 ヤクルトスワローズ
- 名護浦公園 北海道日本ハムファイターズ
- うるま市志志川運動公園 韓国・SKワイブス
- 直野湾海浜公園 横浜ベイスターズ
- 沖縄市コザ運動公園 広島東洋カープ

### 14. モノレール

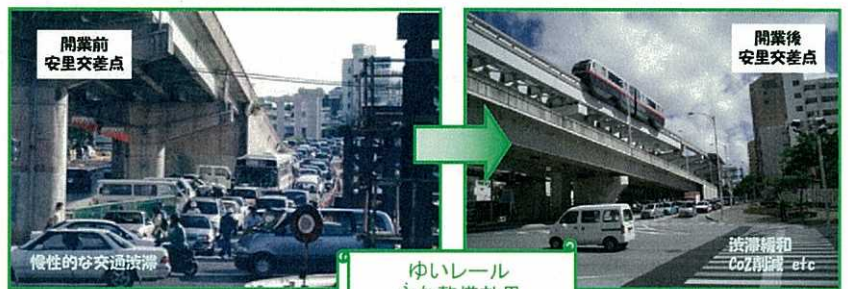
本県の定時定速の公共交通基幹軸を形成するため、首里駅から沖縄自動車道までの延長整備について、早期の事業化に向けた取り組みを図る。また、同時に沖縄都市モノレールの健全経営を図るため、交通結節点の整備、パークアンドライドシステムの拡充等による需要喚起を促進する。

#### 至 中北部

高速道路とゆいレールの結節で

名護市—那覇市 所要時間は・・・

高速バス+ゆいレール	83分
自動車(一般道路)	114分
路線バス(一般道路)	141分



#### ゆいレール 主な整備効果

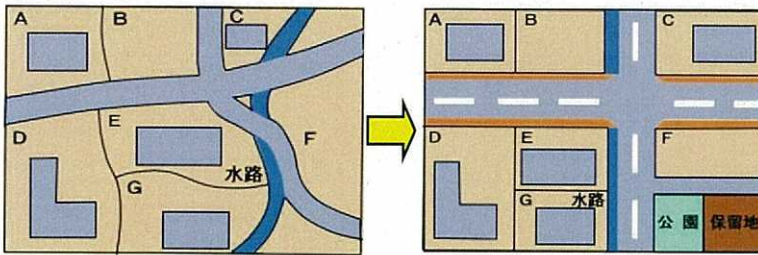


延長ルート (案)

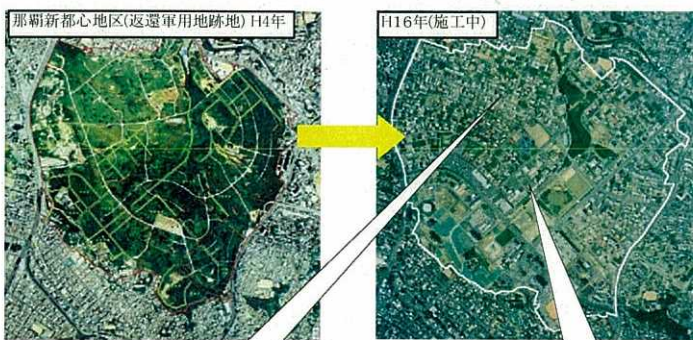
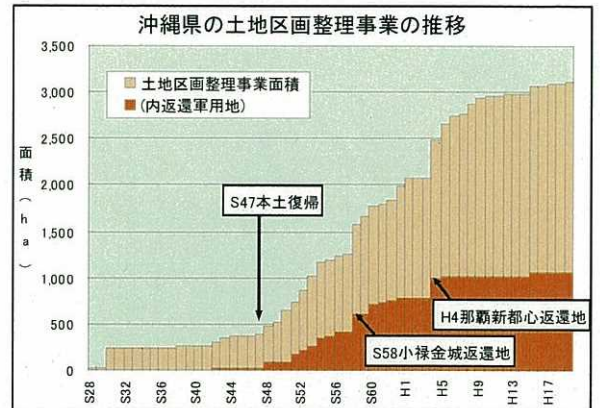


## 15. 土地区画整理

戦後、都市基盤整備が立ち遅れ無秩序に形成された市街地や返還軍用地などに、土地区画整理事業が推進されています。これまで20市町村において実施され健全な市街地の形成と良好な宅地の供給が促進されています。特に那覇市の新都心などのように返還軍用地では土地区画整理事業により都市の再生及び活性化に重要な役割を果たしています。



土地区画整理事業とは、都市計画区域内の土地について、道路・公園・河川等の公共施設を整備し、土地の区画を整え宅地の利用増進を図ることにより、健全な市街地の形成と良好な宅地の供給に資する事業です。



## 16. 再開発

中心市街地にありながら、土地の利用が低く、防災上の課題のある地区等の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図るため、市街地再開発事業を行っています。本県では、3地区が施行済で、現在2地区で事業が行われており、中心市街地の核施設として、周辺地区も含めた活性化に貢献しています。

中の町A地区(コザ・ミュージックタウン H15～H19)



久茂地1丁目地区(パレットもじ S61～H2)



新町・ロータリー地区(H14～H20)



牧志・安里地区(H19～23・施行中)



旭橋モノレール駅周辺地区(H17～23・施行中)



## 17. 沖縄らしい風景づくり

沖縄らしい風景づくりは、まちづくりという観点からも、また、観光振興という観点からも、極めて重要な課題であります。県内各地には、それぞれ特有の自然、歴史、風土があることから、地域らしさを活かした市町村独自の景観計画の策定を促進するとともに、県は広域的な観点から景観施策を推進し、社会資本に対する景観形成の質を高めるなど、沖縄らしい風景づくりを推進します。



東平安名岬



竹富島のまちなみ



首里金城町の石畳

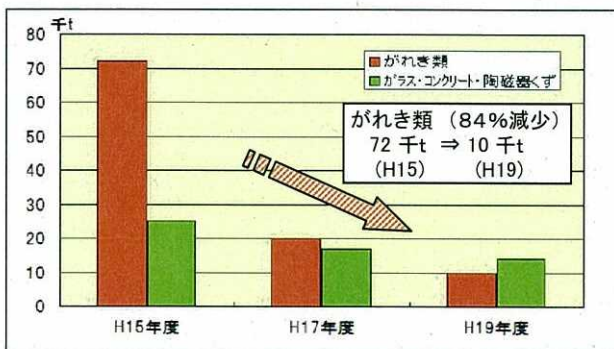
## 18. リサイクル

本県では、県内での廃棄物の最終処分量を減らすことを目的とした沖縄県リサイクル資材評価認定制度(ゆいくる)をH16から運用しています。ゆいくるは、建設資材の品質や安全性等の基準に適合する資材を県が『ゆいくる材』に認定し、公共工事での使用促進を図る制度です。

[リサイクルの一例]



原材料  
(廃棄物:  
がれき類)



沖縄県における産業廃棄物(がれき類等)最終処分量の推移



再生路盤材

建設資材  
(ゆいくる材)



工事で使用  
(再生利用:リサイクル)

## 19. ESCO事業

ESCO事業は、民間業者から事業提案の公募を行い、施設の設備機器を省エネ機器に改修することで、光熱水費の削減、地球温暖化防止対策等に貢献する事業です。事業者は、省エネ効果を保証することにより、その省エネ効果の一部を報酬として受け取る仕組みになっています。

北部病院 例: 冷凍機 更新



県庁舎  
例: 照明 更新

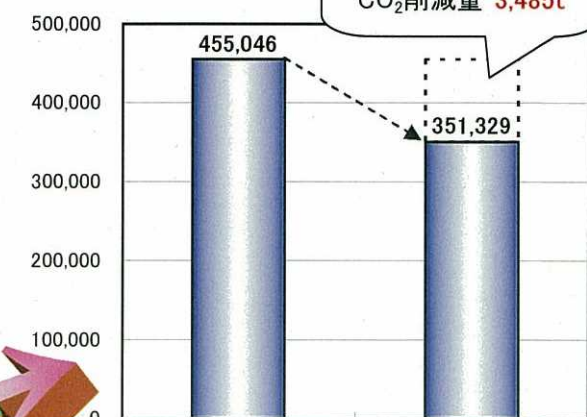


看護大学 例: 冷房機 更新



平成19年度 省エネ改修工事

光熱水費(千円)



ESCOサービス導入前 ESCOサービス導入後  
平成20年度 光熱水費実績  
※契約単価試算

